

# News Letter

2010年3月  
経営行動研究学会会報  
第 67 号

## モンゴルとの交流で学ぶもの

神戸国際大学非常勤講師 秋武 孝春

2000年の夏（7月29日～8月4日）にモンゴル経済ビジネス連合と経営行動研究学会の国際シンポジウムが始まってから今年で10年になる。筆者はかねて司馬遼太郎の「モンゴル紀行」を愛読し、大草原の空気を吸ってみたいと憧れていたし、ソ連の桎梏下で60年以上も民族意識を封印され、「押し付けられた」社会主義に慣れ切っていたモンゴルがどのようにして市場経済に移行しつつあるのか興味があったので、菊池会長からお誘いを受けて喜んで参加した。それに司馬さんの時代にはシベリア経由で3日もかかった首都ウランバートルに、日本から直行便でわずか4時間で行ける時代になったことを実感したかった。

シンポジウムの第一回はウランバートル郊外の特別保養地域にある旧迎賓館で行なわれた。初めてのモンゴル訪問だったこともあり、周辺の清冽な環境は強烈な印象が残る。P. オチルバト元大統領を初めとして、無血革命によって90年に「モンゴル人民共和国」を「モンゴル国」に転換させた人々が参加して報告し、積極的に意見を述べられたことも忘れられない。「アングロ・サクソンの経営よりも日本の経営がモンゴル人には向いている」。そのような意味のことをオチルバト氏が話された。以後、シンポジウムは日モ交互に開催され、モンゴルでは旧迎賓館、モンゴル国立大学、外務省、そして昨年モンゴル国立科学技術大学を会場として交流を深めた。この間、モンゴル側の参加者に企業経営者が増え、実践的な発表が増えたことは「脱社会主義化」が進んだことを物語る。また日本への留学生が増え、通訳もオユナさんのようなレベルの高い人材が育ってきた。モンゴル人は遊牧の伝統によるものか、人なつっこい人が多く、われわれも年を追う毎に「モンゴルファン」になっていった。

この間、定点観測的にモンゴルを眺めていると、マクロ経済は好調な鉱業や観光を中心に着実に伸び、富裕層の誕生とともに消費が拡大、旧国営百貨店に入ってみても豊富な品揃え、高級化、輸入の拡大が伺える。同時に市場経済化の陰の部分も深刻になってきた。貧富の格差の拡大、ウランバートルへの人口集中、車社会の到来による交通渋滞、冬場に石炭を焚くことによる空気汚染、水質汚染、ゴミ問題。シンポジウムでこうした課題が取り上げられることが多くなってきた。高度成長時代以降の日本の経験と蓄積をどのようにモンゴルの人々に吸収してもらうか、われわれの交流の意義は大きい。

筆者はこれまでの交流で様々なことを考えさせられた。政経ともに強大化する中国をモンゴル人はどうみているのか。中ロ二大国に挟まれたモンゴルの苦難の歴史。その苦難から解放された現代モンゴルの外交と戦略。豊富な鉱物資源をどう活かすのか。日本はモンゴルをどのように位置付け、戦略的パートナーとして交流を深めるべきなのか。

今年の日本・モンゴル国際シンポジウムは第10回、8月3日（火）と4日（水）の両日、早稲田大学で開催される。テーマは「環境・政策・経営行動」。10周年にふさわしい実りある議論と交流の一層の深まりを期待したい。

# 研 究 部 会 報 告

○第 25 回中部部会：2009 年 12 月 12 日(土)，於中京大学名古屋キャンパスセンタービル 6 階 0604 号

- (1) 「中国オアソア・ソフトウェア開発市場における非対称情報問題とその解決：上海地域および大連地域における調査研究報告と若干の理論的考察」

報告者：東海学園大学 早川 貴 氏

- (2) 「リスクマネジメントと PDCA サイクル」

報告者：金城学院大学 小室 達章 氏

- (3) 講演 「経営学の現在を越える」

講演者：立教大学・中京大学名誉教授 三戸 公 氏

※ 中部部会事務局では報告希望を随時、受け付けています。連絡先は  
〒470-0207 愛知県西加茂郡三好町福谷西ノ洞 21-233 東海学園大学経営学部 市古 勲  
(TEL:0561-36-5555, FAX:0561-36-6757, E-mail:ichiko@tokaigakuen-u.ac.jp) です。

○第 12 回九州部会：2010 年 3 月 6 日(土)，14 時開始，お茶の水医療福祉専門学校福岡校

- (1) 「提携マネジャーの役割と能力に関する一考察—提携の段階モデルの視点から—」

報告者：清水 恵一 氏 (広島大学大学院)

- (2) 「戦略的な地域貢献活動に見られる経営行動について—業種別視点からの一分析—」

報告者：角 和宏 氏 (広島大学大学院)

- (3) 「経営革新活動と従業員の組織コミットメントに関する研究」

報告者：木村 弘 氏 (宇部工業高等専門学校)

- (4) 「Japanese education and its management challenges」

報告者：ダイモン・ドラモンド 氏 (立命館アジア太平洋大学)

今後の部会開催予定

## ◆ 経営行動研究学会 第 75 回研究部会

※ 報告の順位が②と③が入れかわり下記のとおりとなりました。

日 時：2010年4月10日(土) 午後1時より

会 場：早稲田大学 9号館5階第1会議室 ◆参加費：500円

(東京都新宿区西早稲田 1-6-1 Tel. 03-3203-4141 (内) 6171)

- ① 1:00-2:00 (報告 40分 質疑 20分)

テーマ：「JSPC (靖遠発電所) の経営革新—日本型管理手法の導入を中心に—」

報告者：魏 爽 氏 (桜美林大学大学院博士後期)

司会・コメンテータ：董 光哲 氏 (江戸川大学准教授)

- ② 2:05-3:05 (報告 40分 質疑 20分)

テーマ：「21世紀における市場経済と企業の役割，社会的責任

—100年に一度の大不況といわれる現在，その歴史的意味を考える—」

報告者：井出 亜夫 氏(日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科教授)

司会・コメンテータ：吹田 尚一 氏(社)日本経済復興協会理事)

3:05-3:15 コーヒーブレイク

③ 3:15-4:15 (報告 40分 質疑 20分)

テーマ：「ハイブリッド・コーポレート・ガバナンスへの道—金融危機で機能出来なかったアメリカのコーポレート・ガバナンスの再構築—」

報告者：佐藤 剛 氏(元日立化成工業(株)副社長, 全米取締役協会会員)

司会・コメンテータ：宗岡 広太郎 氏(株)日立製作所 顧問)

※なお、部会終了後(4:30頃)に同会場にて懇親会を開催いたしますので、是非ご参加ください。会費 3,500円

❖ 第76回研究部会は、7月10日(土)に明治大学において開催予定

❖ 第26回中部部会は6月に東海学園大学において開催予定

**【 経営行動研究学会 第20回全国大会ならびに  
第10回日本・モンゴル国際シンポジウム 】**

期日： 2010年8月3日(火)・4日(水)・5日(木)

場所： 早稲田大学 (東京都新宿区西早稲田 1-6-1)

第20回全国大会統一論題「新しい経営行動の方向と課題」

〔記念講演・統一論題報告者〕

記念講演：三戸 公(立教大学・中京大学名誉教授)

統一論題：齋藤貞之(北九州市立大学教授)

石井脩二(桜美林大学大学院客員教授)

浅井紀子(中京大学教授)

佐藤信彦(明治大学大学院教授)

交渉中

第10回国際シンポジウム統一テーマ「環境・政策・経営行動」

〔日本側報告者〕

酒井健夫(日本大学総長・生物資源科学部教授)

櫻井 清(和光大学名誉教授)

秋武孝春(神戸国際大学非常勤講師)

小松 章(一橋大学大学院教授)

野瀬昭博(佐賀大学農学部教授)

★上記の第20回全国大会ならびに第10回日本・モンゴル国際シンポジウムの詳細は5月末に文書にてご案内を申し上げます。

## ◆新刊書（学会会員著）紹介◆

- ・「世界自動車メーカーどこが生き残るのか—ポスト・ピック3体制の国際競争」土屋勉男・大鹿 隆・井上隆一郎著，ダイヤモンド社，319頁，2010年3月4日，定価2,000円（税別）
- ・「平成異変 打開のリーダー」諏訪春雄編著，平田光弘（第2部リーダー論：戦後日本の経営者），勉誠出版，338頁，2010年2月10日，定価2,500円（税別）
- ・「インドネシアとベトナムにおける人材育成の研究」鈴木岩行/谷内篤博編著，張 英莉/黄 八洙/小林猛久/BAMBANG RUDYANTO 執筆，八千代出版，256頁，2010年3月，定価2,520円（税込）

### 委員会だより

部会報告の募集について…本人申込み・推薦いずれかにより，それぞれ所定の用紙（申込み用紙は学会事務局または<http://www.soc.nii.ac.jp/jam/index.html>にあります）に記入のうえ，学会事務局に開催予定日の3ヶ月前までに送付してください。応募多数の場合は，研究委員会の審議を経て決定します。なお，部会開催についてご協力を頂ける大学がありましたら，事務局までご連絡・申込み下さいますようお願いいたします。

会報委員会よりのお願い…会員諸氏により新たに学術著書を出版された時は，学会に一部ご惠贈くださいますようお願いいたします。会報にてご紹介させていただきます。

### 【2009年度会費納入のお願い】

2009年度（2009年6月1日～2010年5月31日）の年会費が未納の方は，**2010年5月31日**が年度末ですので，5月20日迄にお振込下さいますようお願い申し上げます。

**納入方法：郵便振替 口座番号：00140-4-601215 口座名：経営行動研究学会**

### 【お知らせ】

日本・モンゴル国際シンポジウムの通訳，翻訳でいつもご活躍ご協力を頂いている，通称オユナさん（オユンツェツェグ・バヤスガランさん）はこのたび，日本大学大学院文学研究科博士後期課程を修了し，3月15日に学位請求論文「モンゴルにおける道德教育の内容及び指導方法に関する研究」に対し日本大学より博士（教育学）の学位を授与されました。ここにご披露し，会員の皆様とともにお祝いを申し上げます。

### <住所・所属等変更の連絡方法について>

会員各位の自宅のご住所・電話番号・所属機関の名称・所在・電話番号・職名等について変更の生じた場合には変更前と変更後を並記のうえ必ず文書にて事務局宛にご連絡ください。

発行 経営行動研究学会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8

東京中央ビル7F707号経営行動研究所内

2010年3月31日発行

TEL. 03-3263-2586 FAX. 03-3263-4466

<http://www.soc.nii.ac.jp/jam/index.html/> e-mail: jarbab@alpha.ocn.ne.jp

印刷 株式会社 櫻 栄 TEL. 03-3288-5571